

## 会報の発刊に当たって

発起人代表  
染田屋謙相

教育改革に対する国民的関心は高まり、各団体から21世紀をめざしての教育について数々の提言がなされております。また総理大臣の諮問に応じ教育改革について調査審議する臨時教育審議会も発足しようとしております。

この時に当り、教育改革の第一歩は、われわれ現場人によってと言う願いから全国個別化教育研究連盟の設立を思い立ち、全国の同志に呼びかけました。幸にして、多くの方々の賛同を得、来る6月30日には、設立総会を開く運びとなりました。

今日まで、設立について、いろいろとご指導、ご協力を賜りました国研加藤先生はじめ発起人、事務局の方々に厚く御礼申しあげる次第です。

個別化・個性化教育に対する研究・実践の必要性は、教育に携わる者のほとんどが認めているところです。学校教育の画一化硬直化を防ぎ、目まぐるしく変化する社会に対応する教育を行うためにも「個性と能力に応ずる教育」の研究・実践に努めることが肝要です。またそれとともに「基礎・基本の重視」の徹底を期することが、個別化・個性化教育を進めるためにも大切なことと考えます。

このような個別化・個性化教育の新しい波は、今や着実に全国的な輪を広げ、先進校では輝かしい成果をあげておられます。われわれの提唱する個別化教育は、オープンスペースを持つ恵まれた学校に限らず、すべての学校で実施可能な教育内容や方法の研究と実践を目標とすべきです。

すくなくとも「あの学校だからできるのだ」と言う研究や実践であってはならないと思います。どこの学校でもできる個別化・個性化教育の研究でなければならないと思います。

そのためには、全国個別化教育研究連盟の組織を広げ、より強固にし、会員同士のコミュニケーションを活発にしたいと願っております。その願いをこめて、第1号の会報を発刊いたしました。この会報は個別化・個性化教育を推進する会員各位の心を結ぶ媒体であって欲しいと思います。そして建前論でなく本音を吐く機関紙として、会員のすべてに愛されることを願ってやみません。

終りに、全国個別化教育連盟の発展と会員各位のご健勝とご活躍をお祈りいたします。  
(東京都板橋区教育長)



## 個別化教育への関心

### 全国的に高まる

国立教育研究所

主任研究官 加藤 幸次

昨年から今年にかけて、個別化教育に対する関心が、急速に、高まってきました。率直に言って、驚いていますし、私たちの「個別化教育研究連盟」の将来は、ますます、明るいものになってきている、と確信するようになりました。

よく知られていますように、文部省では今、「個人差に応ずる学習指導事例集」の作成に急いでいます。秋にも、刊行される予定です。また、全国教育研究所連盟の三年間に及ぶ研究も終り、今月、成果が世に問われます。わたしたちも、来月には、『個別化・個性化の実践に学ぶ』—小・中学校編—（明治図書）、また、秋には、『講座 個別化教育』—全五巻—（黎明書房）という形で、今までの研究成果を公にしたい、と考えています。

これで、個別化教育についてのソフト面がかなりはっきりしてくるものと思います。

他方、これまた、よく知られていますように、文部省では、「多目的スペース」をもつ学校作りにのり出しました。四月より、従来の基準面積に加えて、小学校は7.6% 中学校は6.0%の多目的スペースの設置が

認められました。さらに、今までの学校校具—机やいすなど—の見直しの委員会も発足し、秋には手引き書が出る予定です。また、最近のマイクロ、コンピューターの学校への導入は目を見はるものがあります。CMIにしる、CAIにしる、個別化教育に対するコンピューターの役割を期待したいところです。これで、個別化教育についてのハード面がかなりはっきりしてくるものと思います。

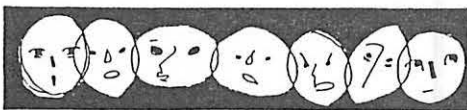
また、各地の研究も、急速に、進んでいるように思います。都道府県の教育研究所での研究も盛んで、福岡県教育研究所連盟は、すでに、昨年、『一人ひとりに応ずる授業の方法と技術』（第一法規）を刊公しています。また、いわゆる付属学校での研究も盛んで、付属釧路小・中学校、付属住吉中学校、付属坂出中学校などでは、「個のよさを生かす」といったところに焦点をあてて研究中で、これらの学校は、今月、研究会をもちました。付属坂出中学校『能力・適性に応ずるモジュール学習の開発』（明治図書）は版を重ねています。

また、多目的スペースをもった学校での研究も盛んで、どの新聞にも、記事がのり、テレビにもよく出るようになりました。緒川小学校は『個別化教育へのアプローチ』（明治図書）が五版にもなり、喜んでおられます。

そう言えば、最近の教育雑誌や教育新聞の個別化教育への関心には異常なものがあります。どの雑誌も個別化教育の特集を組んでいるようですし、座談会なども盛んにもたれています。私たちにとってはうれしいことだ、と思います。

言うまでもなく、個別化教育のめざすところは「生徒一人ひとりをとらえ、生かし、育てる」にあります。そこへのアプローチにはいろいろあってよい、と思います。もとより、一斉指導にもよいところがあります。特に、話し合い活動は大切にしたい、と思います。このことをふまえた上で、一斉指導のもつ問題点を克服して行きたい、と考えています。要は、生徒一人ひとりに基礎的な学力をつけさせ、しかも、自立的かつ創造的に学習に取り組むような技能や態度を身につけさせたい、と考えます。そのことが、21世紀に生きる子どもたちに不可欠な資質だ、と信じています。

私たちの研究連盟はこうした国民的な努力を支える組織である、と思います。ますます、多くの人々に加入していただき、育てていきたいと念願するしだいです。



## 事務局だより

### 1. 全個教連と略称化

4・19の事務局で、全個教連と略称化することに内定。同時に会報も、不定期刊ながら、発行することに決定。その第1号が本紙である。

### 2. 事務局次長に、清水 昭 校長

59・4・1の人事異動で、事務局長松崎二葉が、金沢小に転任。ただし、事務局は従来どおり板橋区立志村第四小学校におき、同校校長清水 昭が、事務局次長として掌理することとなった。お問合せは、金沢小でも志四小でも可。

### 3. 連盟加入のお誘いを

本年1月から、連盟加入のお願いを、意欲的に進めてきたが、おかげ様で、順調に進展中。団体加入、個人加入のどちらも歓迎。

### 4. 連盟の会則案に、ご意見を

既配付の会則(案)は、6 / 30の総会で、会則となる予定。ご意見によって、よりよい会則にしたい。(事務局長 松崎 二葉)

# 第1回 全国個別化教育研究大会

— 全国個別化教育研究連盟(全個教連)設立総会 —

期日 昭和59年6月30日(土)AM10:00~PM3:00

会場 東京都板橋区教育委員会研究奨励校  
**東京都板橋区立金沢小学校**  
 〒173 東京都板橋区加賀2-2-1  
 03-962-2361~2

## ご案内

新緑の候、皆様にはますますご健勝のことと存じます。  
 さて私どもは、昨秋来諸般の準備を進めてまいりましたが、皆様のご協力によりまして上記の会を計画するに至りました。  
 個別化教育に対する関心が、急速に高まって参りました今日、全国の同志が一堂に会しますことは、きわめて意義深いことであると考えます。  
 板橋区立金沢小学校の公開授業や研究発表をもとに、個別化教育のあり方を探ろうではありませんか。そしてまた、お互いの研究機関として“全国個別化教育研究連盟”を結成しようではありませんか。  
 ご多用のこととは存じますが、各位のご来会を願ってやみません。

全国個別化教育研究連盟発起人代表  
 染田 屋 謙 相 (東京都板橋区教育長)  
 加 藤 幸 次 (国立教育研究所主任研究官)

## 大会 研究 主題

# 個別化教育のあり方を探る

— 指導の個別化と学習の個性化 —

## 日 程

9:30	受付	
10:00	公開授業	全学級公開
11:00	研究協議	指導助言 国研主任研究官 加藤幸次先生ほか
12:00	昼食休憩	
12:40	設立総会	あいさつ、会則、役員 etc.
1:20	記念講演	今日の学校教育の課題 文部省小学校課長 熱海則夫先生
2:30	閉会行事	
3:00		※日程の細部は多少変更することがあります。

## 参加要領

1. どなたも、お気がるにご参加ください。  
会場設営の都合もありますので、早目にお申込みください。
2. 宿舎のごおっせん等は、いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
3. 最寄駅  
(1)都営地下鉄三田線  
「板橋区役所前」  
(2)国電赤羽線「十条」
4. 受付での、受付事務にご協力ください。

(4)

お問合せ先

事務局=〒174 東京都板橋区小豆沢4-13-1 板橋区立志村第四小学校  
 連盟事務局次長 清水 昭 (志四小長) TEL 03-966-3542  
 会場校=〒173 東京都板橋区加賀221 板橋区立金沢小学校  
 連盟事務局長 松崎二葉 (金沢小長) TEL 03-962-2361